

教科名 (科目名)	数学 基礎数学	履修学年	3 年	学科	普通 (SC) 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		3	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

数学的に物事を考える力を育成することは実社会においても物事を正しく捉えたり、考えたりすることができることにつながる。今後、更に複雑な社会になることを考えれば数学的に正しく捉え、論理的に筋道を立てて考えていく能力を身につけることが各自の豊かな人生につながると考え、以下の項目を目標とする。

- ①基礎・基本の定着
- ②計算力の向上
- ③考えることを楽しむことができる生徒の育成
- ④自ら課題を設定し、疑問点や弱点の克服に自分で取り組んでいける力の育成
- ⑤深い理解・正しい理解を常に求める生徒の育成

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅰおよび数学Aの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 式を目的に応じて適切に変形する力、図形について論理的に考察し表現する力、事象を数学的に表現して式、グラフを相互に関連付けて考察する力、データについて適切な手法を用い問題を解決し、その過程や結果を批判的に考察し判断する力、事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期テスト ・テスト (適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発表 ・レポート等 ・自己評価

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】
 新編 数学Ⅰ, 数学A, 数学B (数研出版)
 チャート式解法と演習Ⅰ+A, Ⅱ+B (数研出版)
 【副教材】
 チャート式解法と演習Ⅰ+A, Ⅱ+B (数研出版)
 3TRIAL数学Ⅱ+B+C (数研出版)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○予習・授業・復習の学習サイクルの確立と思考過程を大切に学習習慣の確立を目指す。
 ○授業は、1・2年次利用した教科書の内容を中心とする。
 復習・定着を図り、実力養成のため、副教材を利用したレポート等を課す。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	○平面上のベクトル	単元テスト 単元テスト	単元テスト 単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発表 ・レポート等 ・自己評価
	5月	○空間のベクトル	単元テスト	単元テスト	
	6月	○統計的な推測	単元テスト 期末テスト	単元テスト 期末テスト	
	7月	○数学ⅠAⅡB復習【基礎】	単元テスト	単元テスト	
2 学期	8月	○数学ⅠAⅡB復習【基礎】	単元テスト	単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発表 ・レポート等 ・自己評価
	9月				
	10月	○数学ⅠAⅡB復習【基礎】			
	11月	○数学ⅠAⅡB復習【基礎】			
	12月	○数学ⅠAⅡB復習【基礎】			
3 学期	1月	○数学ⅠAⅡB復習【基礎】	単元テスト	単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発表 ・レポート等 ・自己評価
	2月				
	3月				